

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



第10回環境フォーラムと10周年記念  
音と光と大地のハーモニー  
主催 地域環境活性化協議会  
後援 愛知県・尾張旭市  
協力 公益財団法人 せとん地域振興協力基金

2014/11/16

玉置教育長  
 子供の感性を育むことは  
 今一番大切なことであり、  
 蔵性工学部が信州大学にあることを  
 知った事をイベントとして話した。

十一月十六日(日)  
 10周年  
 10回環境フォーラム  
 来賓の挨拶  
 設立平成18年2月  
 前倒しの10周年記念  
 10周年早かった。



第10回環境フォーラムと10周年記念  
音と光と大地のハーモニー  
主催 地域環境活性化協議会  
後援 愛知県・尾張旭市・尾張旭市教育委員会  
協力 公益財団法人 せとん地域振興協力基金

2014/11/16

リニアがワンツカイを  
 ぞりつたろうか。  
 海や湖の底に埋れた  
 があるという意匠伝説  
 がある。ロマンチックな  
 名前を持つ深海魚の  
 ことだ。大きな目と口  
 は人の顔のようにも見  
 え、赤い伸びたひれが  
 髪のように思わせる。  
 人魚のモデルもなした神  
 秘的な生きものである。  
 深海にすむはずなのに  
 魚が今年に入ると各地で  
 漁の網にかかり漁師に  
 見つかっている。  
 に打ち上げられたりして  
 日本海側を中心に少なく  
 とも10匹ほどが確認さ  
 れた。  
 リニアがワンツカイ以外に  
 も、タイオライカヤサケガ  
 シラといった深海からの  
 珍客が相次いで水場  
 がされている。

深海の、こうした生きものが、  
 なせ人間の前に姿を現すの  
 だろうか。なにしろ生態のほと  
 んどは謎に包まれている。  
 人間の側が原因を  
 作っている深海魚のミス  
 を解剖すると、劇的な  
 確率で胃の中からは、  
 パットホルのギョウなど出

愛知産業  
 大学  
 今井教授  
 ノート旅  
 の講演  
 も27年度  
 は尾張旭  
 では3回  
 4回は  
 講演予  
 定としま  
 す。徹底  
 的に開  
 催する



2014/11/16

▲ 西山保育園 豊田 園長より、現在活動している坐禅の詩と一言  
 ▼ 小学校2年から活動に参加していた、松岡君、修了書西山君。

陸の上で気軽に捨てたゴミが  
 回り回って海の底まで沈み、  
 ガラスのクラグと間違えて  
 コイルやプラスチックを飲み込み  
 でしまふことが少なくない。  
 これを意匠域  
 からメキシ  
 も届けに来  
 いるというこ  
 であろう。



第10回環境フォーラムと10周年記念  
音と光と大地のハーモニー  
主催 地域環境活性化協議会  
後援 愛知県・尾張旭市・尾張旭市教育委員会  
協力 公益財団法人 せとん地域振興協力基金

2014/11/16



2014/11/16

陸の上で気軽に捨てたゴミが  
 回り回って海の底まで沈み、  
 ガラスのクラグと間違えて  
 コイルやプラスチックを飲み込み  
 でしまふことが少なくない。  
 これを意匠域  
 からメキシ  
 も届けに来  
 いるというこ  
 であろう。



第10回環境フォーラムと10周年記念  
音と光と大地のハーモニー  
主催 地域環境活性化協議会  
後援 愛知県・尾張旭市・尾張旭市教育委員会  
協力 公益財団法人 せとん地域振興協力基金

2014/11/16